

京都マラソン2024大会の総括 及び2025大会の概要について（報告）

【2024大会の総括】

1 開催結果の概要

	2024	前回（2023）
日 時	令和6年2月18日（日）※2月第3日曜日 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了	令和5年2月19日（日） ※同左
天 気	9時（スタート会場） くもり、13.2℃、湿度69% 15時（フィニッシュ会場） 雨、18.8℃、湿度58%	雨 12.0℃、80% 雨 11.0℃、60%
出走者	マラソン 15,957人 ペア駅伝 400人 車いす競技 6人 } 計 16,363人 (完走者 15,114人、完走率 92.4%)	16,177人 〔完走者:14,880人〕 〔完走率:92.0%〕
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園内）～ 平安神宮前（42.195km） （日本陸上競技連盟、世界陸上競技連盟及び国際マラソン・ ロードレース協会公認） 2 車いす競技 たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園内）～ 嵐山（6.1km）	同左
スタッフ数	約 13,300人	約 13,900人
応援人数	約 387,000人	約 385,000人
おこしやす広場 入場者数	約 24,800人	約 17,000人

2 各取組の概要及び実施結果 （●は新規、○は拡充）

(1) 競技運営

より安心・安全かつ円滑な競技運営を行うための各種対策を充実

取組	概要・実施結果
ア 走路対策	・積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備
イ ランナー対策	・雨天・防寒対策として、簡易ポンチョを配布 ・ランナーの防寒衣類をスタート後に回収、リユース・リサイクル →690kg回収（前回 940kg）
ウ 医療救護対策	・京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED152台を配備） ・コース沿道でのAED配備施設に協力を依頼 ・心肺蘇生時の対応を学ぶ「ファーストエイド講習」を実施 ・救命講習を受けたランナー・ボランティアを対象にファーストエイド

ウ 医療救護対策	<p>サポーターを募集 →22人登録（前回23人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の救護応急拠点となる「高度救急救護車」等を配備 ・各救護所に多言語指差しボード（ランナーが各症状を指差す）を配備する等、多言語対応を充実 ●救護所、コース沿道の待機救護サポーター、移動救護サポーター、フィニッシュ救護サポーターとの連絡手段としてZoomを導入 ・救護件数408件（前回333件）、救急搬送8件（前回8件） <p>※AED不使用</p>
エ ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの人材育成と裾野を広げるため、個人ボランティアリーダーを配置 →講習会参加者数20人（前回19人） ・スポーツへの関心を育み、支え合う精神を養うことを目的に、「ファミリーボランティア」を募集（小学校5年生～中学生1～2人につき20歳以上の大人1人の組合せ）し、スタート会場、給水所に配置 →49人参加（前回45人）

(2) 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、様々な媒体を通して市民や事業者、観光客等への広報・周知を行い、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた。その結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん・チラシ・ポスター・歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告など多様な媒体を活用した周知 →市民・事業者・観光客等の御協力の結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生せず ・広域迂回・直近誘導対策等を実施 ・駅構内デジタルサイネージやバス停広告を掲載 ・ホームページ上で時間帯別の交通規制内容をコース図に表示 ・バス停の大型広告を掲出 →56箇所に掲出
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス無料乗車券の配布、路線バス利用促進を広報 →13,363枚の利用（前回12,507枚） ・閉塞地において無料シャトルタクシーを運行 →7路線で実施、910人が利用（前回967人）
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察・消防局等と連携したランナーストップ体制を配備 →ランナーストップの実施なし ・消防指令センターと警察本部の専用回線の設置及び人員配置等により、緊急車両通行時の連絡体制を確立

(3) 沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布し、きめ細やかに情報提供を行うとともに、「横断対策島方式」の設置等によるコース横断対策や速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置した。

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> 沿道住民・事業者（128,000世帯）へ交通規制マップ等を配布 市民しんぶんへの挟み込みや各施設等へのチラシ配布により周知
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ランナーの走行を妨げずに歩行者を横断させる「横断対策島方式」を設置（13箇所） →16,084人が横断（前回比約36.8%増） ランナーの切れ目でのコース横断を実施
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> 速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置（8箇所） 大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表 関門閉鎖後の走路上のランナー等を速やかに歩道へ誘導するため、競技役員による指導の強化及び多言語対応のプラカード等を配備

(4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

大会のメインコンセプトの具現化に努めた。また、地域各団体・市民の御協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等により、大会を盛り上げた。

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプト具現化	
(ア) 「DO YOU KYOTO? マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> 大会当日を「ノーマイカーデー」に設定 水素カーを大会車両の一部に導入 リユースごみ箱（400個）の活用 給水・給食の残物品をフードバンクへ提供 使用済小型家電から抽出した金を使用したリサイクル金メダルを優勝者に贈呈 ボランティア・スタッフウェアを回収し、クリーニングのうえ、次回大会で再利用 →6,168着回収（前回5,922着） 看板等使用資材の再利用 給水の紙コップ削減を目的にオリジナルマイカップを導入 →3,081個販売（前回3,923個） 参加案内・完走証のWEB化 ●広報用クリアファイル（128,000部）をプラスチックから紙に変更 ●おこしやす広場でリユースを目的とした使用済み衣服回収を実施 →63.3kg（1着250gとした場合、253着分） ●おこしやす広場、おつかれさま広場から排出される生ごみの家畜用飼料化を実施→50kg ●ハイタッチゾーンで配布する手袋を別製品の製作時に出た糸（廃番品）を再利用したエコ素材に変更

(イ) 「みんなが主役」	<p>【走る人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインマラソン、ランニング教室で裾野を拡大 <p>【支える人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート会場、おこしやす広場への一般来場、飲食屋台の復活 ●団体ボランティアにおける団体名記載の腕章着用の実施 <p>【応援する人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイタッチゾーンの復活、オフィシャルグッズの EC サイト販売、商店街・店舗での盛り上げ企画の実施 (21 商店街・店舗) ●ゼスト御池でのオフィシャルグッズ販売 (大会当日のみ)
イ ランナーサービス	
(ア) エントリー・ランナー受付	<ul style="list-style-type: none"> ・各募集枠の設定 (ボランティア経験者枠、サブ 3.5・サブ 4 応援枠、京都市民枠、ふるさと納税枠)
(イ) 多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な案内看板を日本語・英語・繁体字・簡体字で表記 ・たけびしスタジアム京都の大型映像装置を活用した多言語案内及び手話通訳を表示
(ウ) スタート前	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス (京都駅→スタート会場) 35 台運行
(エ) フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナー参加案内で銭湯を紹介 ・「ポカリスエット」(スポーツドリンク)、「カロリーメイト」、「京都米おにぎり」、「茶の葉」、「●プロテインスティック」を全ランナーに提供 ・シャトルバス (フィニッシュ会場→烏丸御池駅) 35 台運行
(オ) 京都ならではのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・上位入賞者 (1 位～3 位) のメダルリボンに京くみひも (一般男子・車いす)、京友禅 (一般女子) を使用 ・完走メダルのリボンを京友禅柄で作成 ・ペア駅伝のタスキを西陣織で製作 ・コース周辺の観光名所案内サインを設置 ●新たな京銘菓の提供 (給食:「京ばあむ (株式会社美十)」、「ちょこくらんち (ぶぶる (祇園辻利))」)
(カ) 表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ランナー賞「京 (みやこ) トップ 8 (エイト)」を設定 ●ボストン市との姉妹都市提携 65 周年を記念し、京トップ 8 入賞者から上位 2 名をボストンマラソン 2024 へ招待するとともにボストン市民を京都マラソン 2024 に招待 (フルマラソン 1 名、ペア駅伝 1 組 2 名) ・特別記録証の発行などランナーサービスを提供する「マラソンチャレンジカップ (MCC)」に参加 →マラソン男子で過去最高タイムを記録 (MCC から賞金 30 万円を授与)
(キ) コース	<ul style="list-style-type: none"> ・給水所でのティッシュの配架 ・ゴミ箱設置 (約 200m 間隔) の周知による利用促進

ウ 応援・大会盛り上げ	
(ア) 市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道盛り上げ隊 (13 箇所 35 団体)、市内 19 商店街による沿道応援 ・沿道盛り上げ隊の団体名及び内容を示す看板を設置 ・車いす競技フィニッシュ会場における東嵐会によるおもてなし ・SNS での情報発信。完走メダルデザイン投票にも活用 ・フィニッシュ会場に地元による応援者向け飲食ブースを設置 ・ランナーの位置を地図上に表示するアプリ「応援 navi」を導入 ○ハイタッチゾーンの設置 (萩原堤、北大路橋西詰南)
(イ) おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ●「公益財団法人京都伝統産業交流センター」と連携し、伝統工芸の職人による実演・体験を実施 ・地元店等による飲食屋台、裏千家によるお茶席等京都ならではのおもてなしを実施
(ウ) 応援大使・ゲストランナー	<ul style="list-style-type: none"> ・島袋勉氏がペア駅伝出走 ・特別ゲストランナーとして福士加代子氏がペア駅伝出走 ・スタートセレモニー及びフィニッシュ会場での盛り上げ、沿道での応援

(5) 広報・放送実績

取組	概要・実施結果
ア 大会前	
(ア) 市民しんぶん 区版 (1 月 15 日号) 全市版 (2 月 1 日号)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通規制時間や路線バス・無料シャトルタクシー運行情報等を周知 ・応援大使「森脇健児さん」からのメッセージとおこしやす広場の周知
(イ) 一般紙 (京都新聞)	7 月 20 日 (木) ランナー募集広告 2 月 11 日 (日) おこしやす広場 2 月 15 日 (木) 直前特集 2 月 17 日 (土) 交通規制等周知
(ウ) ラジオ (α-STATION)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通規制告知スポット CM (2 月 1~17 日)、20 日前から 1 日前までカウントダウン告知放送 ・2 月 17 日 (土) 14:00~19:00 おこしやす広場から公開生放送
イ 大会当日 (2 月 18 日(日))	
(ア) テレビ (KBS 京都)	8:30~ 9:25 スタートの様子 (生中継) 12:30~13:25 フィニッシュの様子 (生中継) 21:00~21:55 大会ダイジェスト
(イ) ラジオ (α-STATION)	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催中 2 回、コース沿道からのレポート (生中継) ・大会当日午前 5 時に大会の開催可否を放送 (KBS 京都ラジオでも午前 6 時 10 分頃に放送)
ウ 大会後	
(ア) テレビ (MBS 毎日放送)	2 月 23 日 (金・祝) 9:55~10:55 大会ダイジェスト

3 事業決算・経済効果等

(1) 事業決算

【収入の部】

- ・ 企業等へ積極的に働き掛けたものの、既存スポンサーの条件変更等により、協賛金収入が前回大会比で減少した。

※ 協賛金収入：2023 大会 254 百万円⇒2024 大会 215 百万円

- ・ 負担金については、ランナー等から出走権獲得を目的に本市に寄付いただいた「ふるさと納税」の残高（スポーツ振興基金積立）を活用したことで、本市の一般財源負担なし。

(単位：千円)

予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
負担金収入	152,000	144,897	△7,103	・京都市からの負担金の減 (財源の内訳) toto 助成金 12,000 スポーツ振興基金 132,897
協賛金収入	216,000	215,791	△209	
参加料収入	335,000	331,812	△3,188	
諸収入	23,000	26,573	3,573	オリジナルグッズ販売代金、出展料等
合計	726,000	719,073	△6,927	

【支出の部】

- ・ 参加賞等の見直しによる大会運営費の抑制など諸経費の削減に最大限努めたものの、物価・人件費高騰の影響により、支出総額が前回大会比で増加した。

※ 支出総額：2023 大会 695 百万円⇒2024 大会 719 百万円

(単位：千円)

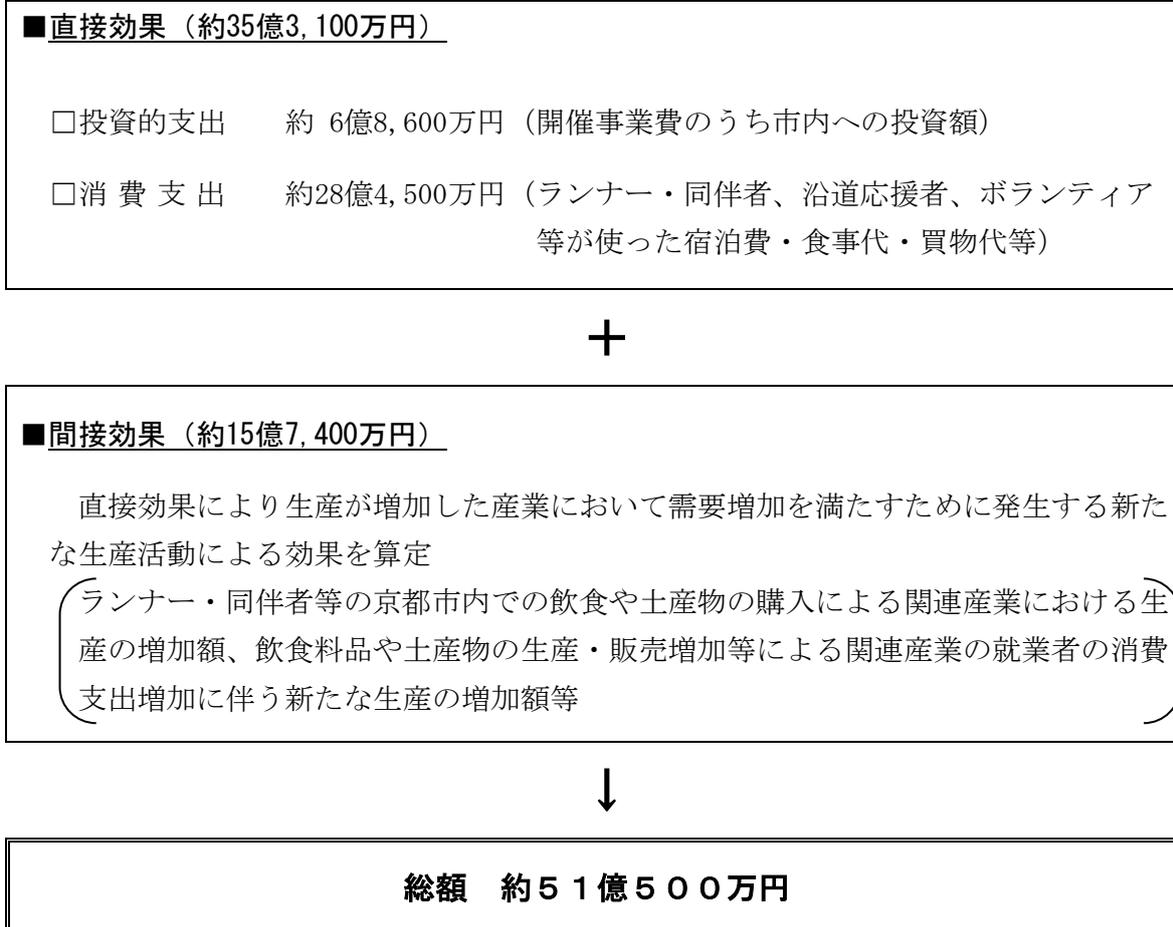
予算区分	予算現額	決算額	差引	備考
大会運営費	345,000	334,485	△10,515	・参加賞等の見直しによる経費削減
安全対策費	225,000	225,877	877	・一般来場者の再開に伴う警備員の増員（スタート会場等）
広報・イベント関係費	80,000	83,967	3,967	・おもてなし屋台等の再開
エントリー・記録関係費	56,000	55,528	△472	・完走証の紙発行廃止等による経費削減
実行委員会運営費	20,000	19,215	△785	・事務費等運営経費の節減
合計	726,000	719,073	△6,927	

※各区分において端数処理を行っているため、決算額の合計と合わない場合がある。

(2) 経済効果等

- ・ 京都市内における経済波及効果は、推計で総額約 51 億 500 万円（前回は 7 億 2,500 万円増）となった。
- ※ 開催事業費（約 7 億 1,907 万円）の約 7.1 倍
- ・ 市税増収効果は、推計で約 1 億 4,600 万円となった。

【経済波及効果の推計内訳】



【参考】経済効果等の推移

	経済波及効果	市税増収効果
第1回大会（2012年）	40億8,300万円	1億100万円
第2回大会（2013年）	35億4,600万円	8,700万円
第3回大会（2014年）	41億4,400万円	9,800万円
第4回大会（2015年）	45億9,400万円	9,900万円
第5回大会（2016年）	46億500万円	1億200万円
第6回大会（2017年）	49億100万円	1億900万円
第7回大会（2018年）	49億9,000万円	1億1,800万円
第8回大会（2019年）	51億5,900万円	1億2,000万円
第9回大会（2020年）	42億7,600万円	1億円
第12回大会（2023年）	43億8,000万円	1億2,000万円
第13回大会（2024年）	51億500万円	1億4,600万円

※第10回、第11回大会はオンライン大会のため推計なし

4 京都マラソン 2024 おんらいん supported by オムロン・ワコール

(1) 日程

令和5年10月21日(土)～11月19日(日)

(2) 内容

「いつでも」「どこでも」「自分のペースで」走ることができるオンラインマラソンを実施することで、ランニング愛好者の裾野拡大を図るとともに、日頃のランニング活動のモチベーション向上に寄与することを目的として実施した。今回は、様々なランナーニーズに応えるため、従来のフルマラソン(42.195km)に加え、新たに100kmのカテゴリーを設けた。

(3) 参加状況

【全体】

	申込者数	参加者数	完走者数	完走率
フル	1,207名	1,196名	1,055名	88.2%
100km	610名	606名	503名	83.0%
(計)	1,817名	1,802名	1,558名	86.5%

【地域別】

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
フル	2.6%	4.0%	19.6%	24.6%	35.2%	4.0%	3.9%	6.2%
100km	1.5%	4.3%	24.3%	21.8%	33.0%	4.9%	4.9%	5.4%
(全体)	2.2%	4.1%	21.1%	23.7%	34.5%	4.3%	4.2%	5.9%

※(全体)の近畿34.5%のうち、京都府(京都市含む)16.8%、京都市14.0%

【男女比】

	男性	女性
フル	48.6%	51.4%
100km	67.9%	32.1%
(全体)	55.1%	44.9%

【年代別】

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
フル	0.0%	2.2%	10.2%	29.8%	37.4%	17.0%	3.4%
100km	0.0%	1.3%	11.8%	35.1%	35.2%	13.9%	2.6%
(全体)	0.0%	1.9%	10.7%	31.6%	36.7%	16.0%	3.1%

5 二条城朝 RUN

(1) 日程

令和5年10月15日(日) 午前7時～8時45分

(2) 内容

世界遺産・二条城内で国宝や重要文化財などを眺めながらの朝ランを開催。唐門から二の丸御殿前・二の丸庭園、さらに、クールダウンタイム限定で本丸エリア(ウォーキング指定)を散策ができる。

(3) 参加者数

72人(申込106人/定員100人)

【 2025 大会の概要 】

1 大会要項

大会名称	京都マラソン 2025 (英文名: KYOTO MARATHON 2025)
メインコンセプト	「DO YOU KYOTO?マラソン」 「みんなが主役」
趣 旨	1 市民スポーツの振興 2 京都の魅力を国内外に発信 3 京都・日本の活性化
主 催	京都市、一般財団法人京都陸上競技協会
共 催	京都市体育振興会連合会、京都新聞、KBS 京都、α-STATION
企画・運営	京都マラソン実行委員会
主 管	一般財団法人京都陸上競技協会
運営協力	京都障害者スポーツ振興会、京都市スポーツ推進委員会、一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都私立病院協会、地方独立行政法人京都市立病院機構、公益社団法人京都府看護協会、京都府救急救命士会、京都橘大学、明治国際医療大学、京都市地域女性連合会、京都ランニング連合会 (予定)
後 援	AIMS (国際マラソン・ディスタンスレース協会)、公益財団法人日本陸上競技連盟、スポーツ庁、観光庁、京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、公益財団法人京都市スポーツ協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、公益社団法人京都市観光協会、京都商店連盟、NHK 京都放送局、MBS テレビ、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、共同通信社京都支局、時事通信社京都総局、J:COM 京都みやびじょん (予定)
種 目	1 マラソン (42.195 km) 2 ペア駅伝 (1 区 27.6 km、2 区 14.6 km) 3 車いす競技 (6.1 km)
開催日時	令和 7 年 (2025 年) 2 月 16 日 (日) 8:55 車いす競技スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝終了 令和 6 年 (2024 年) 10 月 19 日 (土) ~11 月 17 日 (日) (予定) オンラインマラソン
定 員	1 マラソン 16,000 名 2 ペア駅伝 250 組 500 名 3 車いす競技 20 名 4 オンラインマラソン 3,000 名 ※ 主催者が推薦する競技者等を含む。
制限時間	マラソン・ペア駅伝 6 時間 ※ 制限時間は号砲を基準とする。
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園をスタートし、平安神宮前にフィニッシュするコース (日本陸上競技連盟、ワールドアスレティックス及び AIMS (国際マラソン・ディスタンスレース協会) 公認コース) ※ ペア駅伝は府立植物園内を中継点とする。 2 車いす競技

	西京極総合運動公園～嵐山 3 オンラインマラソン 全国
時間制限関門	交通・警備、競技運営上、時間制限関門を設ける。 関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させることができる。 ※オンラインマラソンは設けない。
競技規則	2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
表彰	1 マラソン (1) 総合男女 各1位～20位 (2) 総合年代別男女(5歳刻み) 各1位～3位 (3) ^{みやこ} 京 ^{エイト} トップ8 京都市民の男女各1位～8位 ※ (1)の9位以下及び(2)(3)は、表彰式を行わず賞状は後日送付とする。 ※ ペア駅伝の表彰は行わない。 2 車いす競技 1位～3位
参加資格	1 マラソン・ペア駅伝 ※車いすでの参加は不可 (1) 平成18年(2006年)4月1日以前に生まれた方 (2) 6時間以内に完走できる方 2 車いす競技 身体障害者福祉法(昭和24年法律283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた車いすの使用者(令和7年2月16日現在)で、京都障害者スポーツ振興会が推薦し、主催者が認めた方 3 オンラインマラソン 平成24年(2012年)4月1日以前に生まれた方
参加申込	インターネットにより受け付ける。 ※ 定員を超えた場合は抽選を行う。なお、オンラインマラソンは先着順
参加料	1 マラソン 国内 17,500円 海外 30,000円 2 ペア駅伝(1組2名) 30,000円 3 車いす競技 3,000円 4 オンラインマラソン 2,000円
ランナー受付	令和7年2月14日(金) 令和7年2月15日(土) ※ 大会当日(2月16日)の受付は原則行わない。 ※ 受付時に身分証明書等による本人確認を行う(代理受付不可)。 会場:京都市勧業館 みやこめッセ
その他	1 出走は、大会参加申込者本人に限る(代理出走の禁止)。 2 仮装して参加することは認めない。また、大会会場及びコース上において、会社名、商品名等を意味する図案及び商標等の広告的なものを身に着けたり、表示することを認めない。 3 京都市スポーツ振興基金への寄付金を任意で受け付ける(一口1,000円)。

2 ランナー募集要項(骨子)

(1) 募集期間

令和6年7月18日(木)～9月2日(月)

(2) 募集枠

ア マラソン・ペア駅伝(定員:マラソン16,000人、ペア駅伝250組500人)

(ア) 京都市民枠(マラソン1,200人、ペア駅伝60組120人)

(イ) ボランティア経験者枠(マラソン100人)

(ウ) サブ3.5・サブ4応援枠(マラソン600人)

(エ) ふるさと納税枠(先着・マラソン780人、ペア駅伝10組20人)

イ 車いす競技(定員:20人)

※上記(ア)～(ウ)の優先枠に落選した方は自動的に該当する他の枠の抽選に回る。

ただし、申告が必要な「ボランティア経験者枠」と「サブ3.5・サブ4応援枠」との重複抽選は行わない。

(3) 参加料

種目	2025大会
マラソン(国内)	17,500円
マラソン(海外)	30,000円
ペア駅伝	30,000円
車いす競技	3,000円

3 オンラインマラソン

(1) 募集期間(予定)

令和6年7月18日(木)～10月9日(水)(先着順)

(2) 実施日(予定)

令和6年10月19日(土)～11月17日(日)

(3) 参加料

オンラインマラソン	2025大会
国内ランナー	2,000円

3 京都マラソン 2025 大会要項及びランナー募集要項骨子に係る 2024 大会からの主な変更点

物価・人件費の高騰による支出増に対応するため参加料を順次引き上げてきたこと、また、コロナ禍を経て全国的に市民マラソンブームに陰りが生じていることを背景に、コロナ後は応募者数が大幅に減少。加えて協賛金収入も減少するなど事業環境が大幅に悪化している。

※ 応募者数：コロナ前・2020 大会 60 千人⇒コロナ後・2024 大会 26 千人

こうした中、京都マラソンの魅力を保持・向上させつつ収支改善を図るため、2025 大会において以下の点を変更する。

(1) 定員（大会要項）

人気があり応募倍率が高い（2024 大会実績 2.7 倍）ペア駅伝について、定員を増員する。

種目	2025	前回（2024）	増員数
ペア駅伝	250 組 500 人	200 組 400 人	50 組 100 人増

(2) 参加料（大会要項）

- ランナーニーズに応えるため、一律配布してきた参加賞をオプション販売（有償化）とし、マラソン（国内）、ペア駅伝及びオンラインマラソンの参加料を減額する。
- 新たに京都の魅力あふれる参加特典を用意させていただくとともに、翻訳費用や通訳等の経費が増大していることを踏まえ、マラソン（海外）の参加料は増額する。

種目	2025	前回（2024）	差額
マラソン（国内）	17,500 円	18,000 円	△500 円
マラソン（海外）	30,000 円	20,000 円	+10,000 円
ペア駅伝	30,000 円	31,000 円	△1,000 円
オンラインマラソン	2,000 円	3,000 円	△1,000 円

(3) 募集枠

より多くの京都市民の皆様に参加いただけるよう「京都市民枠」を増員するとともに、自己記録の更新を目指し日々練習に励んでいる方を応援するため「サブ 3.5・サブ 4 応援枠」を増員する。

募集枠	種目	2025	前回（2024）	増員数
京都市民枠	マラソン	1,200 人	1,100 人	100 人増
	ペア駅伝	60 組 120 人	50 組 100 人	10 組 20 人増
サブ 3.5・サブ 4 応援枠	マラソン	600 人	500 人	100 人増

<サブ 3.5・サブ 4 応援枠とは>

サブ 3.5・サブ 4（男子 3 時間 30 分・女子 4 時間以内）の達成を応援する優先枠のこと。資格審査のため男子は 3 時間 45 分、女子は 4 時間 15 分以内の記録証等の提出が必要となる。